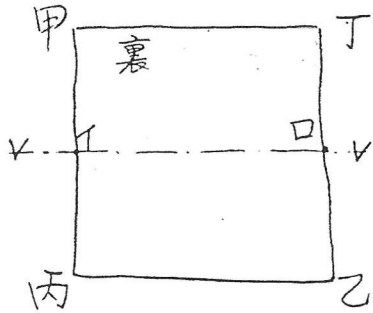


「正方形の基本折り」

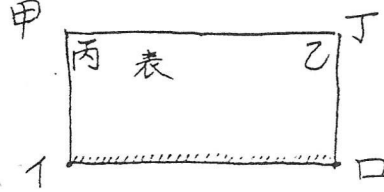
765090

井上猛

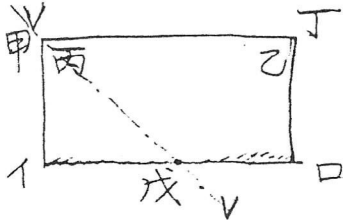
- 。正方形の紙を用いる
- 。色面の方を **表** と呼び 無地の方を **裏** と呼ぶ事にする



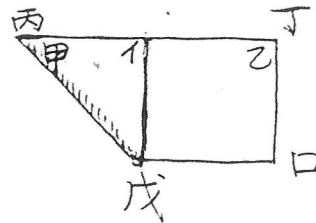
- 。辺, 甲丙 および 丁乙 の中点 イ, ロ を 結ぶ 様に 折る 丙, 乙 を 夫々 甲, 丁 に 重ねる 様に 折る こと に よう



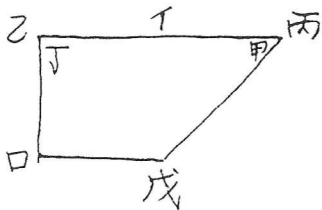
- 。以下 暫くは 表 ばかりが 見えている



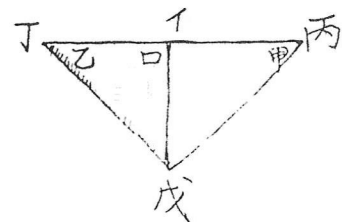
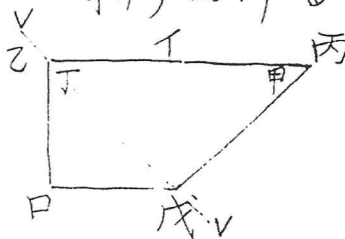
- 。イ, ロ の 中点 ^ボ 戊 と 丙 と を 結ぶ 線を 折り 曲げて, 丁 頂点 イ が 辺, 丙 乙 の 中点 に 重なる 様に する



- 。線分, イ 戊 を 軸 に, 全体 を ぐくり 回転 させて 左右 を 逆に 置き かえる 要するに 裏返せば 良い

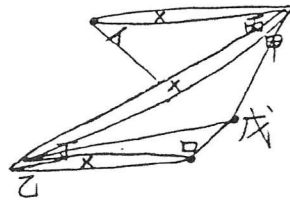
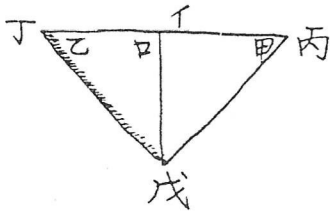


- 。先程 と 同様の 折り を 施す 即ち, 戊 と 丁 と を 結ぶ 線を 折り 曲げる



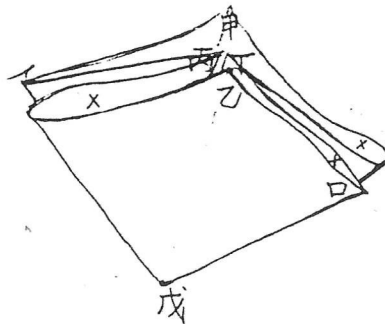
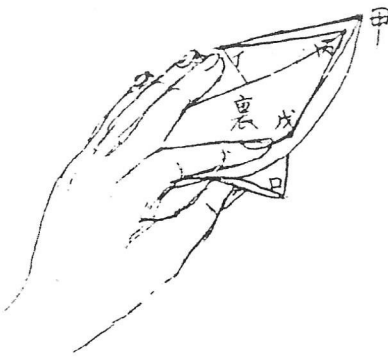
・以上までに折り上がったものを「目」印の方から見てみると次の様になっているであろう

目



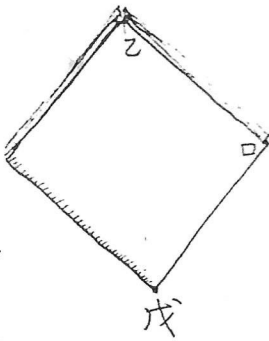
・X印の部分は裏が見えている筈

・真中の裏の部分に指を入れて、乙と丙、更に甲と丁とが互いに重なり合う様に、折り畳む



・X印の部分は裏が見えている筈

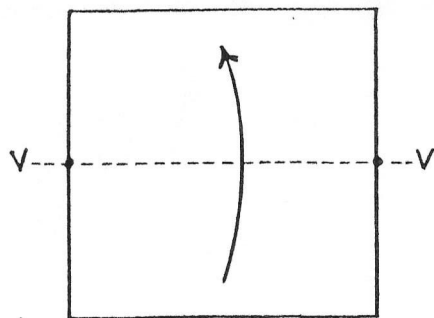
・折り上がりは下図の如し



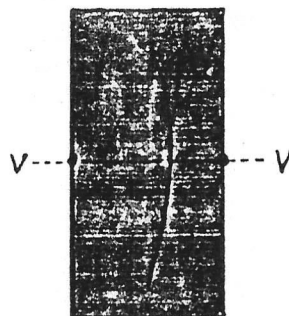
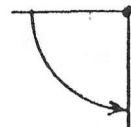
- ・戊は元の紙の中心に位置している
- ・乙の部分には左右から折られた紙片が二個接し、それらを上下から挟む様にて、甲の紙片が位置している
- ・口には折られた紙片が二個重なっている筈

★以上が鶴を初めとする種々の折りの基本となる折りである
此の基本型に至るには、只今の方法以外の折りのある事は勿論である。従って各々に適した方法で折れば良い
未だ此の基本型の折りが固定していない愛好家には上記の手順を勧めたい。一見面倒の様であるが折り上がりが美しい様に思えるからである

正方形の基本折り (井上 猛 8401874)



紙の向きを90°まわす



折り方の約束

V ---●---●--- V

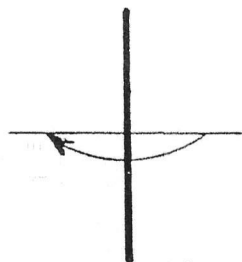
二個の点の間を谷に折る

Λ ---●---●--- Λ

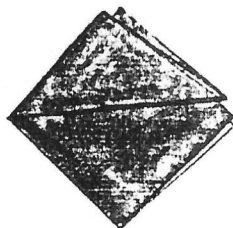
二個の点の間を山に折る

VΛ ---●---●--- VΛ

折り目をつける



縦線を軸に
ひっくり返す

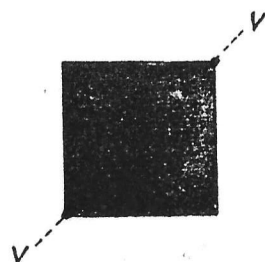
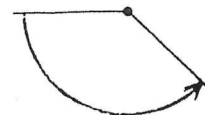
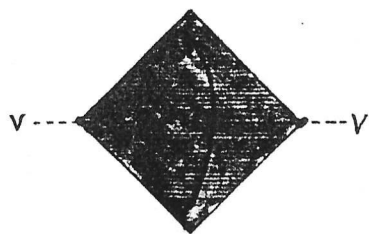


折り重なって居る場合
原則として「上の一枚を」
指示に従って折る
(袋状のものも「一枚」と考える)

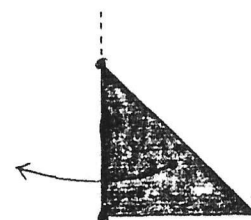
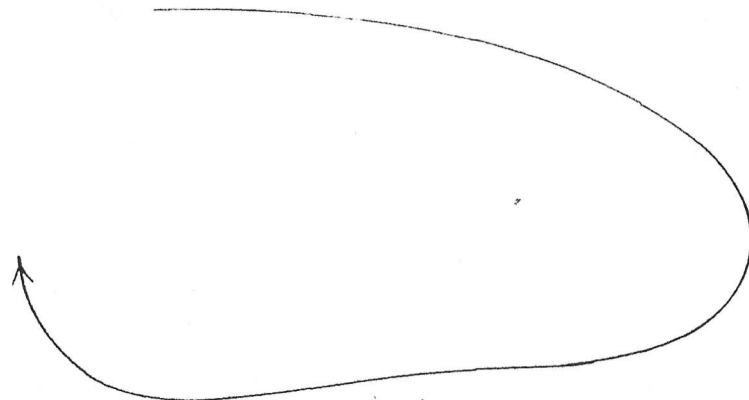
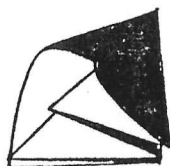


指示通りに
まわす

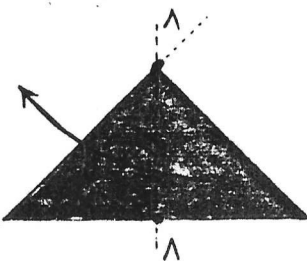
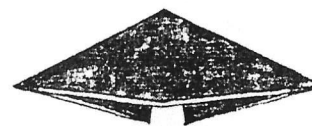




「上の一枚」を左上に
送って、左右に夫々
二枚ずつになるように
折っておく



縦線を軸に「一枚」を
左にひるげる



斜線を軸に
「一枚」を左上に
ひるげる